**日本スポーツ産業学会第3２回大会【スポーツ庁長官賞】アイデアコンペ実施要項【改訂版】**

**「スポーツにおける地域創生・まちづくり」「アフターコロナのスポーツ産業」**

**【特別賞『山梨県知事賞』】「スポーツで儲かるビジネスモデル」**

1．趣旨

日本スポーツ産業学会では2016年より学会大会においてスポーツ政策・スポーツ産業活性化に向けた提言コンペを実施してきたが、山梨学院大学で開催される第３２回大会においては「スポーツにおける地域創生・まちづくり」「アフターコロナのスポーツ産業」をメインテーマとしてアイデアを募集する。これと併せてメインテーマ以外の各種スポーツ産業活性化のための提案も幅広く募集する。それらを公表するとともに優秀なアイデアを表彰することによって日本のスポーツ市場規模拡大ならびにスポーツ界発展に向けた貢献を果たしたい。

さらに、今年度学会大会開催地である山梨県と連携し、山梨県の特色を活用しスポーツをビジネス資源として捉えることで更にスポーツ産業が成長することを目指していくため、「スポーツで儲かるビジネスモデル」をメインテーマに追加し引き続き提案を募集する。

2．テーマ

メインテーマ：

**「スポーツにおける地域創生・まちづくり」**

提案例：プロスポーツクラブの新たな取り組み、アウトドアスポーツツーリズム、地域住民の健康づくりなど。

**「アフターコロナのスポーツ産業」**

提案例：新たな参加形態のスポーツサービス、アウトドアスポーツ、リモートコーチングなど。

**「スポーツで儲かるビジネスモデル」**

提案例：山梨の特色を活かした、新たなアウトドア・スポーツ・アクティビティの開発、アーバンスポーツの振興又は大会誘致等、スポーツと他産業（農業、福祉、林業、AI等）との連携など。

※メインテーマ以外にも、スポーツ産業活性化のための提案も広く募集する。

※すでに事業化されているアイデアの応募も可能とする。

※「スポーツで儲かるビジネスモデル」について応募いただいた企画提案から特別賞として山梨県知事賞を選出し、県との委託契約により、本年度内の実証事業としての採用を検討します（上限500万円）。（※企画提案等に関する御相談については、山梨県庁スポーツ振興課にお問い合わせください。TEL055-223-1545、MAIL：sports-sk@pref.yamanashi.lg.jp）

3．募集対象

* 個人および法人（団体）＜ただし、学部学生は教員等を代表者とする＞
* 大学・学部・学科・コース・ゼミ等のチーム単位で応募可　企業・団体も同様
* 学会員でなくても応募可。ただし、二次審査を通過し決勝プレゼンテーションを希望する場合は【学会入会】および【学会大会参加費納入】の両方が必要。また、一次審査を通過し、パネル展示を希望する場合は【学会大会参加費納入】が必要。チーム単位の場合は代表者（学部ゼミの場合は指導教員）が手続きを行えば発表可能だが、大会シンポジウム等を聴講する場合は参加人数分の大会参加費納入が必要。

4．申込方法

* エントリー：５月３１日（水）までに<https://spo-sun.gr.jp/news/5249>よりエントリー

**※延長しました**

* 企画書提出：５月３１日（水）までに企画書（内容は次項参照）をjssi@spo-sun.gr.jp宛てにメール送付）

５．企画書作成について

* power point ８枚以内で作成
* 必ず、概要（対象、目的、課題、背景、実施スキーム）、最大のポイント（どこに新規性があるのか）を盛り込むこと。
* 「スポーツで儲かるビジネスモデル」に関する提案は収支計画（事業費や参加料など）を盛り込むこと。
* ファイル名はエントリー時のグループ名とすること。

６．審査

* 一次審査：学会内審査委員会にて審査
* 二次審査：５～6件程度選抜
* 最終審査：７月２２日（土）にスポーツ庁長官を迎え（予定）プレゼンテーション

※3件程度を優秀賞として表彰（スポーツ庁長官賞（申請中）、学会会長賞、山梨県知事賞）。

※一次・二次審査の結果は６月中旬頃通知予定

※最終プレゼンテーションは学会大会会場（山梨学院大学）にて対面形式で実施予定

７．当日発表

①パネル展示

　　一次審査を通過した提案について、パネル展示を行う

②プレゼンテーション（５～６件程度／各7分程度＋質疑応答）

* 参加者の投票　＜投票結果を参考に審査委員会が優秀賞を決定します＞
* 審査委員長講評
* 懇親会会場にて表彰

８．学会誌への掲載

一次選考に残った提案については、スポーツ産業学研究に掲載させていただきます。